

対数関数の性質

1. 指数関数の性質

a, b を正の実数、 x, y を実数とすると、指数関数は以下の性質を有する。

$$a^x a^y = a^{x+y}, \quad (1-1)$$

$$(a^x)^y = a^{xy}, \quad (1-2)$$

$$(ab)^x = a^x b^x, \quad (1-3)$$

$$a^{-1} = \frac{1}{a}. \quad (1-4)$$

また、 a^0 を考えると、Eqs. (1-1, 1-4) より、

$$a^0 = a^{1-1} = a^1 a^{-1} = a \frac{1}{a} = 1,$$

つまり、

$$a^0 = 1. \quad (1-5)$$

となる。

また、 x, y が有理数の場合、負の実数 a, b について Eqs. (1-1)-(1-5) が成立する。

2. 対数関数の性質

対数関数の性質は指数関数の性質から導ける。

$$A = a^x, B = a^y. \quad (2-1)$$

とすると、

$$x = \log_a A, y = \log_a B, \quad (2-2)$$

となる。よって、Eqs. (1-1)-(1-4)を用いると、

$$\log_a (AB) = \log_a (a^x a^y) = \log_a (a^{x+y}) = x + y = \log_a A + \log_a B,$$

$$\log_a \left(\frac{A}{B} \right) = \log_a \left(\frac{a^x}{a^y} \right) = \log_a (a^x (a^y)^{-1}) = \log_a (a^x a^{-y}) = \log_a (a^{x-y}) = x - y = \log_a A - \log_a B,$$

が成立する。つまり、以下の式が成立する。

$$\log_a (AB) = \log_a A + \log_a B, \quad (2-3)$$

$$\log_a \left(\frac{A}{B} \right) = \log_a A - \log_a B. \quad (2-4)$$

また、

$$a = c^z, \quad (2-5)$$

とすると、Eq. (1-2)より、

$$\log_c A = \log_c a^x = \log_c (c^z)^x = \log_c c^{xz} = xz = (\log_a A)(\log_c a),$$

となる。よって、

$$\log_a A = \frac{\log_c A}{\log_c a} \quad (2-6)$$

が成立する。